

# 令和6年度 米子市美術館事業報告書

## 1 管理業務の実施状況

### 1 施設管理の充実

- (1) 館内・収蔵庫の点検と空調設備の整備により、収蔵作品の良好な保存状態を維持した。
- (2) 美術館周囲の日常的な点検、除草及び樹木剪定を行い、美観の維持に努めた。
- (3) 雨漏り防止のため定期点検と修繕を実施した。
- (4) 収蔵庫の整理を行い、新収蔵品として77点の作品・資料を収納した。
- (5) 米子市が受贈した大型液晶テレビモニターを館内に設置し、イベント情報の発信に活用した。

### 2 利用者サービスの向上など

- (1) 特別共催展「佐藤健寿展」にあわせ、会期中の毎週日曜と火曜に創作広場で「遊ぼう Day」を開催。キッチンカーや縁日、遊び場を企画し、来場者の誘客に努めた。
- (2) 特別企画展「米子の書」で、書道文化の発展と継承を目的に郷土作家作品を一堂に展示し、これまでの調査研究の成果をまとめ図録として刊行した。会期中には、書に親しんでもらえるよう、多様なワークショップや書道パフォーマンスを実施した。
- (3) 特別共催展「MINIATURE LIFE 展2」はすべての展示作品を撮影可能とし、作品を巨大化したフォトスポットも設置したことにより、来場者によるSNSでの情報発信が促進され、当館歴代5位の来場者数32,746人を記録した。
- (4) コレクション展で対話鑑賞を実施し、来場者が発見や感想を共有することで作品をより深く鑑賞できる機会を提供した。
- (5) ミュージアムスクール等の教育普及事業では、児童文化センターなど他の財団施設と連携し、ウォークやワークショップを実施。事業の活性化と新たな顧客層の開拓を図った。
- (6) SNSをはじめ多様なメディアを通じて広報活動を強化し、誘客に努めた。
- (7) 米子市所蔵「井上幸夫・英子コレクション」が寄託先の山陰伯耆国アジア博物館で7月から一般公開されたことに伴い、出前講座を実施した。また提携割引を導入し、相互の来館を促進した。

## 2 事業の実施状況

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内 容
展覧会事業			
山陰ビデオシステム設立45年記念企画 特別共催展 I  「佐藤健寿展 奇界/世界」  共催：米子市、米子市教育委員会、 山陰ビデオシステム、朝日新聞社  関連事業：	4月7日(日) ～ 5月26日(日) 水曜日休館 ※ただし 5/1(水)・ 5/8(水)は開 館 [45日間]	17,435	これまで世界120カ国以上を巡り、各地のありとあらゆる“奇妙なもの”を対象に撮影を続けてきた写真家・佐藤健寿。本展では代表作『奇界遺産』をはじめ、過去20年にわたる旅をシンプルな視点で捉えた『世界』、国立民族学博物館所蔵の民族資料、さらに当館展示のために山陰地方で撮り下ろした作品など、220点余りを一堂に展示。  会場：第1～4展示室 観覧料：一般・高大生1,300円(前売1,000円) 中学生以下無料
佐藤健寿によるギャラリートーク	4月7日(日)	(36)	
佐藤健寿「奇界/世界」を語る	5月11日(土)	(170)※	会場：米子市文化ホール イベントホール
遊ぼうday  主催：ホップシャス	会期中毎週 日曜・火曜 4月28日除く	-	創作広場にキッチンカー、緑日、あそびばなどを企画して佐藤健寿の奇界な世界とあわせて飲食ブースや自由に遊べるコーナーなどを設け、会期中の誘客に努めた。
第63回米子市美術展覧会(市展)	6月14日(金) ～22日(土) 会期中無休 [9日間]	1,934	市民から公募した7部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻、デザイン)325点(出品者数304人)を展示。  会場：全館 観覧無料 *初日開会式にて、米子マンドリンオーケストラ(米子市音楽祭出演団体)による演奏披露、表彰式、審査講評を実施。
共催展  AIR475 2024 「鎌田友介 あなたはもう思い出せない -You don't remember anymore-」  「白川昌生 出雲神話はアートになる」  主催：AIR475(エアヨナゴ) 共催：鳥取県、米子市、米子市教育委員会、 米子市立山陰歴史館、鳥取藝文実行委員会  関連事業：	7月19日(金) ～8月4日(日) [15日間]  8月9日(金) ～25日(日) [15日間]	1,412	2023年、現代美術作家として活動する鎌田友介氏と白川昌生氏をAIR475が招聘し、米子を拠点にリサーチと滞在制作を実施した。本展はその成果発表として2期に分けて開催。鎌田氏は解体後の建築に対する忘却現象と、植民地主義、移民政策、戦争などに対する忘却を重ね合わせ、米子の古い日本家屋と日本国外に建設された日本家屋のイメージを重ねる写真、映像、インスタレーションを展示。白川氏は歴史、風土の深層の中から現在に蘇る出雲信仰を示すために、米子や鳥取で近現代に活躍した人物の歴史を、出雲信仰の視点から記述し、平面作品として展示した。  会場：第3展示室 観覧無料
鎌田友介によるギャラリートーク	7月19日(金)	(36)	
鎌田友介 失われゆく建築研究所	7月27日(土) ～8月4日(日) の毎週土日 6日間	(101)※	作家の調査資料や作品原画、及び学生の調査研究を展示。 会場：岩倉ふらっと
鎌田友介・白川昌生アーティスト・トーク	7月20日(土)	(27)※	会場：わだや小路
三田村光土里 Art&Breakfast@yonago city museum of art	7月21日(日)	(34)※	会場：美術館前広場
五十嵐太郎さんと行く! AIR475まち歩き&トーク	8月3日(土)	(29)※	建築批評家の五十嵐太郎氏の解説により米子の「失われゆく面白きもの」を探索し、公会堂でトークを実施。
鎌田友介 失われゆく建築研究所 特別企画 米子北斗高等学校総合探求部 「私のまちの商店街 ～米子本通り商店街～」 出版記念座談会	8月4日(日)	(16)※	会場：岩倉ふらっと
白川昌生によるギャラリートーク	8月10日(土)	(21)	
白川昌生アーティスト・トーク	8月11日(日)	(21)	白川氏による出品作品解説及び美術・社会制度に対する批評や、令和4年度AIR475出品作家の岡田氏によるアーティスト・イン・レジデンスの活動報告。
AIR475まち歩きin加茂川祭り	8月24日(土)	-	参加申込キャンセルのため中止

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
特別企画展 「米子の書 -先人と現代 書の祭典-」 共催：米子市、米子市教育委員会 特別協力：米子地区書道連盟 関連事業：	7月21日(日) ～ 8月25日(日) [31日間]	2,448	江戸末期、児玉玉立(1794-1861)が米子地域の書活動を流布し、それを受け継ぐ書家たちが、明治、大正、昭和と「米子の書」を発展させてきた。本展は、主に昭和20年以降における先人の米子の書家25人と、現在書活動を行っている作家63人の作品もあわせて紹介した。次世代への「米子の書」の橋渡しと、さらなる発展へ繋ぐ大きな契機になった。128点と資料を展示。図録刊行。 会場：第1・2・4展示室 観覧料：一般500(前売400)円、大学生以下無料
揮毫披露	7月21日(日)	-	揮毫：山田龍香氏(書家・米子地区書道連盟会長) 会場：1階ホール
ギャラリートーク	7月21日(日) 8月18日(日) 8月25日(日)	(241)	解説：米子地区書道連盟会員、青戸館長 会場：第1・2・4展示室
高校生による書道パフォーマンス	7月21日(日) 7月28日(日) 8月4日(日) 8月18日(日)	(406)	鳥取県立米子東高等学校書道部 鳥取県立米子西高等学校書道部 鳥取県立米子高等学校書道部 鳥取県立境高等学校書道部 会場：1階ホール
ミュージアムスクール ワークショップ「書に親しもう!!」 ①はじめての書道-かいてみよう!! 連携：米子市児童文化センター	8月8日(木)	(22)※	講師：米子地区書道連盟会員、青戸館長 会場：米子市児童文化センター多目的ホール
②チャレンジ篆刻 -方寸の世界-	8月11日(日)	(23)	講師：遠藤米子人氏(篆刻家) 会場：第5展示室
③生活の中の書作品を作ろう!	8月12日(月・祝)	(11)	講師：青戸館長、米子地区書道連盟会員 会場：第5展示室
共催展 鳥取県アートミュージアム連携協議会 共同企画展 「ハチオシ!」 主催：鳥取県アートミュージアム連携協議会 関連事業：	7月27日(日) ～ 8月25日(日) [27日間]	(1,613)※	鳥取県内の美術資料収蔵館8館で構成される、鳥取県アートミュージアム連携協議会加盟館による共同企画展。令和7年3月の鳥取県立美術館オープン控え、加盟館の「イチオシ作品」と「夏」をテーマとし107点を展示。 会場：倉吉博物館 観覧料：一般220円、大学・高校生110円
各館学芸員によるギャラリートーク	7月27日(土)	(20)※	解説：各館学芸員
コレクション展Ⅰ 「作品の響き」 共催：米子市、米子市教育委員会 関連事業：	9月8日(日) ～ 10月6日(日) [25日間]	815	律動を想起させる抽象的な作品や、楽器を描いた作品のほか、響きを伴うほどに臨場感ある場面を切り取った作品などを中心に、作品と音の関係性に焦点を当て収蔵品の中から38点を紹介。 会場：第2展示室 観覧料：一般330(270)円( )内は団体及び割引料金 *大学生以下、70歳以上、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料
おしゃべりアートじかん(対話鑑賞会)	9月14日(土)	(12)	講師：佐藤真菜氏(鳥取県地域社会振興部 美術館専門員)
ギャラリートーク	9月21日(土) 10月5日(土)	(20)	解説：前田学芸員
共催展 共に生きるアート展 KANSEI 11 ～障がいのある人たちが創造するカタチ～ 主催：米子市	10月1日(火) ～ 10月7日(月) [6日間]	803	市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品173点を展示。 会場：第4展示室 観覧無料
第68回鳥取県美術展覧会(県展) 主催：鳥取県、鳥取県教育委員会、新日本海新聞社 共催：倉吉博物館、日南町美術館	10月12日(土) ～ 10月20日(日) 会期中無休 [9日間]	2,268	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品402点を展示。 会場：全館 観覧無料 *初日、審査員による講評とギャラリートークを実施(60人参加)

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
コレクション展Ⅱ 「光と影」 共催：米子市、米子市教育委員会 関連事業：	10月27日(日) ～ 12月1日(日) 【31日間】	1,806	視覚的な効果のほか、心象的な表現としても用いられる「光と影」をテーマに、その描写が印象的な作品を収蔵品37点により紹介。 *会場・観覧料はコレクション展Ⅰと同じ *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3、11/16、11/17の3日間 (期間中入場者数：582人)
ギャラリートーク	11月2日(土) 11月30日(土)	(23)	解説：前田学芸員
おしゃべりギャラリートーク	11月9日(土)	(6)	解説：喜多村副館長
おしゃべりアートじかん(対話鑑賞会)	11月18日(月)	(17)	ファシリテーター：浅田裕子氏(日南町美術館館長)
おしゃべり鑑賞会 (認知症のかたのための鑑賞会)	11月23日 (土・祝)	(13)	ファシリテーター：船木孝子氏(アーツアライブ認定アトリップアートコンダクター)
特別共催展Ⅱ 「MINIATURE LIFE展 2 ～田中達也 見立ての世界～」 共催：米子市、米子市教育委員会、 新日本海新聞社 関連事業：	2月8日(土) ～3月24日 (月) 会期中無休 【45日間】	32,746	ミニチュア写真家・見立て作家の田中達也による「MINIATURE LIFE」全国巡回展の第2弾。写真、立体、映像地元限定作品を含む185点を展示。日用品とジオラマ用人形を組み合わせ、日常にある物を別の物に見立てた作品を作り出す独自の世界観が好評を博した。 会場：第1～4展示室 観覧料：一般1,200円(前売1,000円)、小中高大生500円(前売・当日共通)、未就学児無料
アーティストトーク	2月8日(土)	(72)	会場：米子市立図書館2階多目的研修室 解説：田中達也氏(本展出品作家)
サイン会	2月8日(土)	52	会場：1階ホール
<b>教育普及事業</b>			
<b>ミュージアムスクール</b>	<b>全3回</b>		
ワークショップ「書に親しもう!!」	①8月8日(木) ②8月11日(日) ③8月12日(月・祝)	-	参加人数、詳細などは特別企画展「米子の書」関連事業の項参照
アートな散歩～中心市街地を巡る～ 共催：米子市立山陰歴史館、米子市公会堂	10月14日 (月・祝)	(22)※	米子市の中心市街地にある野外彫刻や建築家・村野藤吾の設計により1958年に建設された米子市公会堂などの歴史的建築物を巡った。(フレイル予防事業) 解説：藤山館長(米子市公会堂)、山本副館長(米子市立山陰歴史館)、喜多村副館長
美術上映会「ディリリとパリの時間旅行」	1月12日(日)	40	ミッシェル・オスロ監督によるアニメーション作品を上映。ベル・エポックの美しいパリで、少女ディリリがピカソ、モネ、ロートレックらと出会い誘拐事件の謎を解いていく冒険譚。 会場：第1展示室 解説：前田学芸員
<b>出前講座</b>	<b>全5回</b>		
米子市の彫刻ロードを歩きましょう	10月6日(日)	(16)※	依頼元：パナソニック松愛会 解説：喜多村副館長 場所：米子彫刻ロード
地域の魅力発見！ 楽しく歩き楽しく学ぶ米子の彫刻ロード	10月13日(日)	(13)※	依頼元：テゴネット 解説：喜多村副館長 場所：米子彫刻ロード
地域探求ボランティア/米子彫刻ロード解説	10月18日(金)	(46)※	依頼元：米子北高等学校 解説：喜多村副館長 場所：米子彫刻ロード
伯耆文化研究会例会発表「仏涅槃図を絵解く」	11月9日(土)	(50)※	依頼元：伯耆文化研究会 解説：前田学芸員 場所：米子市立図書館多目的研修室
絶景の城米子城×米子シン・グルメツアー内 井上コレクション解説	1月18日(土)	(34)※	依頼元：米子市観光協会 解説：前田学芸員 場所：山陰伯耆国米子アジア博物館

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
米子高専連携事業 夏休み体験教室 「リサイクル工作でランプシェードを作ろう！」 連携：米子高専、米子市淀江文化センター	8月19日(月)	(12)※	会場：米子市淀江文化センター イベントホール 講師：上田輝美氏(米子工業高等専門学校)
財団施設連携事業 米子市文化財団 カルチャー・フェスティバル2024 「ドット絵を描こう！」	9月16日(月・祝)	フェス全体(2,155)※ (134)※	当財団が管理・受託している各施設が集まり、特色を活かしたワークショップ等を実施した。美術館ブースではドットアートの体験ブースを出展した。 会場：米子市公会堂
【新規】ぶらり淀江まち アートな散歩 郷土の彫刻家 入江甲と日吉神社秋の大祭 共催：上淀白鳳の丘展示館	10月17日(木)	(7)	淀江のまちの中で見られる歴史の痕跡と入江甲の彫刻作品を見学した。(フレイル予防事業)
展覧会関連図書展示 連携：米子市立図書館	特別共催展・特別企画展会期中	-	市民により深く関心を持ってもらい、展示に理解を深めていただくため、隣接している米子市立図書館に展覧会関連図書コーナーを設置した。
カフェ連携事業	特別共催展・特別企画展会期中	-	展覧会に合わせ、フルーツカフェサエキの協力により、展覧会コラボメニューを考案し数量限定で販売。SNSなどで情報発信した。
おやかでアートじかん	特別共催展・特別企画展会期中月曜	-	未就学児とその家族などが一緒に作品鑑賞する優先的な時間帯を月曜日の午前中に設定。参加者には、楽しく作品に向き合える鑑賞シートを提供。
博物館実習受入	随 時	-	1人受入(京都外国語大学)
インターンシップ受入	随 時	-	2人受入(鳥取大学、公立鳥取環境大学)
職場体験学習受入	随 時	-	6人受入(湊山中学校、後藤ヶ丘中学校、米子北高等学校)
「探究活動」受入	7月26日(金)	-	5人受入(米子西高等学校2年生「みらいチャレンジ」)
「総合学習」受入	9月19日(木)	-	4人受入(湊山中学校2年生 総合学習インタビュー活動)
特別観覧	12月6日(金)	(3)	収蔵品特別観覧対応 (木山義喬《『漫画四人書生』原画》の一部、《ストライキ》、《婦人胸像》、《青年胸像》) 依頼者：ニコル・クーリッジ・ルマニエール氏(イースト・アングリア大学教授、セインズベリー日本芸術研究所長)
サポーター(ボランティア)	通 年	-	展覧会広報補助、展覧会関連事業補助等 58回活動(第9期2年目・31人登録)
アンケート	通 年	-	展覧会・イベント来場者に配布し意見・要望等を回収、貸館時は1階ホールに一般入館者を対象にしたアンケートと回収箱を設置
レファレンスサービス	通 年	-	郷土ゆかりの作家、美術・芸術家、展覧会、美術・博物館情報など市民からの問い合わせに対応し情報提供
ホームページによる情報提供	通 年	-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新
SNSによる情報発信	随 時	-	X及びInstagramで展覧会関連情報・イベント関連情報やトピックをリアルタイムで発信

事業名	開催日・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
資料収集事業			
郷土関係作家、次年度以降事業資料収集	通年	-	収蔵作家関係、地元作家、若手作家関係調査 次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵作品・資料データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵図書データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵品の修理・修復	随時	-	米子市所蔵及び寄託刀剣手入
収蔵品の貸出等	随時	-	鳥取県アートミュージアム連携協議会共同企画展「ハチオシ！」(倉吉博物館)へ棟方志功《美の女神誕生の柵》、浜口陽三《さくらんぼと青い鉢》、草間彌生《ぶどう》ほか計18点貸出
			特別展「印賀鋼の故郷から 日本刀の美 ～森井父子三人の仕事Ⅱ～」(日南町美術館)へ《短刀 伯耆国住吉幸》(米子市蔵/当館保管)貸出
			令和6年度鳥取県文化功労賞受賞記念巡回展(倉吉博物館、米子コンベンションセンター、鳥取市文化センター)へ森田尾山《米子八景》貸出
収蔵品状況			洋画218点、日本画97点、素描295点、彫刻38点、書12点、版画376点、写真883点、工芸1点、資料80点 合計2,000点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
開館記念日イベント	6月17日(月)	-	米子市展会期中の開館記念日、来館者193人に収蔵作品ポストカードをプレゼント
戸田海笛《喜怒哀楽の図》 ブロンズレリーフの点検・清掃	7月4日(木)		職員と職場体験学習生で清掃作業を実施
年報発行	準備年	-	隔年報(令和5・6年度分)の発行準備を本年度に実施、発行は令和7年度に予定
井上幸夫・英子コレクション点検等	6月18日(火) 6月28日(金) 9月17日(火) 12月23日(月) 3月17日(月)	-	山陰伯耆国米子アジア博物館に寄託されている井上コレクション(アール・ヌーヴォー期のガラス作品)について作品の定期点検と管理助言を実施
主催事業入場者数合計(人)		61,707	美術館外で実施したもの(※)及びギャラリートークなど入場者が重複しているもの( )は除く

### 3 施設の利用状況

開館日数 318日

展示日数 265日

総入館者数 90,699人

#### 貸館利用状況

室名	利用日数(日)	利用件数(件)	利用者数(人)	利用料(円)
第1展示室	125	20	13,890	549,700
第2展示室	47	7	4,191	440,895
第3展示室	101	16	13,325	479,010
第4展示室	81	13	15,266	836,005
第5展示室	14	5	1,048	24,141
合計	136	51	28,992	2,329,751

※利用日数、利用件数、利用者数の合計は重複しているものを除く